

第25期（2024年3月期）決算公告

2024年6月25日

東京都品川区西品川一丁目1番1号

株式会社アティック・アーケード

代表取締役社長 宮本 賢二

貸借対照表

〔2024年3月31日現在〕

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	373,263	流動負債	107,893
現金及び預金	216,664	買掛金	25,928
売掛金	131,538	一年内返済長期借入金	12,000
仕掛品	19,463	未払金	18,655
未収入金	1,064	未払法人税等	30,782
前払費用	4,533	預り金	4,083
		未払消費税	16,443
固定資産	53,902	固定負債	172,000
有形固定資産	2,268	関係会社長期借入金	172,000
工具、器具及び備品	2,268		
無形固定資産	46,986	負債合計	279,893
ソフトウェア	46,986		
投資その他資産	4,647	(純資産の部)	
出資金	100	株主資本	147,272
繰延税金資産	4,547	資本金	10,000
		資本剰余金	—
		資本準備金	—
		その他資本剰余金	—
		利益剰余金	137,272
		利益準備金	—
		その他利益剰余金	137,272
		繰越利益剰余金	137,272
		(うち当期純利益)	(126,608)
		純資産合計	147,272
資産合計	427,165	負債及び純資産合計	427,165

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法を採用しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

2022年8月以前取得資産については定率法を、2022年9月以降取得資産については、定額法によっております。

なお、耐用年数および残存価額の基準は、経済的実態に即しております。

また、主な耐用年数は以下の通りであります。

工具、器具及び備品 4年

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

なお、当事業年度末においては、該当する債権等がないため、貸倒引当金は計上しておりません。

(4) 収益および費用の計上基準

開発及び企画運營業務受託に係る収益は、主にプログラム開発・企画運営等に対する対価であり、顧客との契約に基づいて、納品物等を引き渡す履行業務を負っております。当該履行業務は、納品物を引き渡す一時点において、顧客が当該納品物に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜方式によっております。

② グループ通算制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

(1) 貸倒引当金の計上基準の変更

当社の貸倒引当金の計上基準は、従来、一般債権について法定繰入率による計上を基準としておりましたが、当事業年度より一般債権については貸倒実績率より、貸倒懸念債権等の特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上するよう変更しております。

これは、2022年9月にセガサミーグループへの加入以後、グループ内での新規案件の開発、企画運営業務をメイン事業としており、貸倒懸念債権が発生する可能性が低くなることを見込まれるためであります。なお、この会計方針の変更により当事業年度末の貸倒引当金残高はありません。